

信じてくれ
それでも名曲は書き継がれ、歌い継がれていく
それらの曲が世界に
奇跡を起こすと



このピートが聞こえるか？ 時代のニーズから誕生した、海賊DJたちの真実の物語。

1966年。ローリング・ストーンズ、ビートルズ、キンクス、フー…ブリティッシュ・ロックが絶頂期だった頃、イギリスでは民放ラジオ局が認可されていなかった。BBCラジオが流すのはクラシックやジャズばかり。ポップ・ミュージックの放送は1日45分間に制限されていた。“もっと聴きたい。もっと聞かせたい”そこで北海に飛び出し、イギリスの法律が適用されなくなる距離まで沖合に出て、停泊した船の上から放送する海賊ラジオ局が生まれた。国民の大半を熱狂させたこのラジオ局は1日24時間ロックをかき鳴らしていた。

「ラブ・アンド・ヒューリー」のリチャード・カーティス監督が、枕の下に隠したラジオで海賊放送を聴いていたという幼少の頃の思い出からインスピアされた本作は、自由と音楽を心から愛し、最後まで信念を貫いた人々の、胸を熱くするドラマ。これまでのカーティス作品とは異なる趣を見せながら、新たな愛の形を描いている。

クセのある登場人物には個性派キャスト

カリスマDJ“ザ・カウント”には、「カポーティ」のオスカー俳優フィリップ・シーモア・ホ夫マン。ラジオ局のドンには「パイレーツ・オブ・カリビアン」シリーズのビル・ナイ、大臣役には「ハリー・ポッターと秘密の部屋」のケネス・ブラナーと演技派が結集。さらに「ノッティングヒルの恋人」のリス・エヴァンスに加え、トム・スターリッジ、トム・ウィズダムといったイケメン若手俳優の演技も必見!

時代を彩る名曲の数々♪

キンクスの“All Day And All Of The Night”で幕を開け、スマール・フェイセスの“Lazy Sunday”がパーティを盛り上げる。
ローリング・ストーンズ“Let's Spend The Night Together”に熱くなり、プロコル・ハルムの“A Whiter Shade Of Pale”に涙する。
他にもホリーズ、サンディ・ショウ、ヤードバースなど、60年代を中心とする楽曲が物語を形成し、登場人物の心情を代弁している。



パイレーツ・ロック

監督:リチャード・カーティス 出演:フィリップ・シーモア・ホ夫マン、ビル・ナイ、リス・エヴァンス、ニック・フロスト、ケネス・ブラナー

ユニバーサル映画 提供 / スタジオ・カナル 共同提供 / ワーキング・タイトル 製作 / 原題:The Boat That Rocked / イギリス映画 / サントラ:ユニバーサル ミュージック / 配給:東宝東和

www.pirates-rock.jp



劇場内での撮影の
撮影・録音は原則の
規則による
www.eigakan.org
0120-550098

10月24日(土) ラジオ・ロック開局!!

六本木ヒルズ/けや坂コンプレックス内
TOHOシネマズ六本木ヒルズ
03(5775)6090